

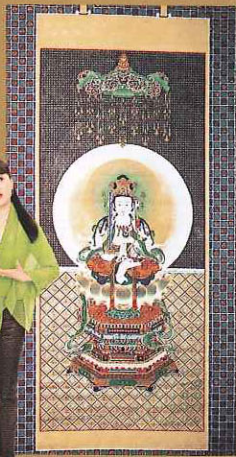


**勝道上人が自ら彫ったという
十一面千手観音 (立木観音)**

中禅寺の本尊で全高6メートル。根がついたまま彫られ、洪水の際に消滅しなかった霊験が、あらたか。「本当に穏やかなお顔ですね (ジュディ)」

This is my Buddha

ジュディさんの守りご本尊、虚空蔵菩薩様はこんなお姿。剣を持ち、装飾も多いので「煩惱と戦っているのかな？」(ジュディ) 大空から慈愛を降り注ぐというパワーの持ち主。



They are great!



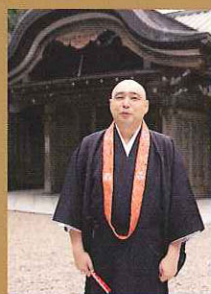
護摩を焚き、祈禱をする大講堂(表紙の写真も)には慈恵・慈眼両大師をはじめ多くの秘仏が。美しいお姿の薬師如来像(写真・上左、非公開)もいらっしやる。

輪王寺というお寺はなく、40棟からなる集合体。中心となるのが全色の三仏が拝観できる世界遺産のひとつの三仏堂。オーラが強い、冬景色に映える。

日光山輪王寺 ☎0288-54-0531 日光市山内 2300 (拝) 8:00~16:00 無休 (料) 輪王寺券 (三仏堂・大猷院) 大人900円 小中400円 東武日光駅より湯元温泉行きなどで約5分、 「神橋」下車徒歩約10分。

日光山には、頼みやすい、優しいお顔の観音様が、大勢いらっしゃいますね。どうぞお気軽にお参りください。

外国の方に日光山のことを説明する場合、まず、神仏習合、シユラインとテンブルが同居しているのが特徴ですね。奈良時代に勝道上人が開山する前は、山岳信仰により神様だけがいした。仏教はインドから中国を経て日本に伝来、いわば「舶来もの」だったわけです。根をおろすには尽力が必要だったはず。江戸時代になり家光公とのコラボレーションで東照宮などができ、さらに栄えましたが、歴代の住職は皇室(ロイヤル)から迎えられる、將軍家(ジエネラル)と共にありました。これは、日本でも屈指の存在で、比叡山と東叡山(東京・上野)とことなっています。仏教では、釈迦如来を筆頭に、彼に仕えて悟りを開こうとする観音や菩薩がおり、私もその一人ではあります。その姿を仏像にして、頼みやすくしたわけです。



日光山輪王寺 教化部長 今井昌英さん 57年日光生まれ。日光山輪王寺教化部長のみならず、菩薩としても講演や新聞、テレビさまざまなメディアに登場、広報活動にも従事している。

日本屈指のロイヤル&ジエネラルのテンブルが、輪王寺なのです

実物は約30cmと小さな千手観音御正体像。親しみやすいお姿です

平安後期に造られた御正体(円鏡に仏像などを鑄出したもの)。現在宝物殿で見ることができません。「赤ちゃんのような愛らしいお顔ですね (ジュディ)」



る時もある。「今日は、叱られているなあ」と思われるように恐い顔のときがあったりしますからね。台湾では何か困ったことがあると街々にある観音廟(びょう)に行き、熱心に拝みます。私も自分の家に観音様の仏像を置いてありますし、ペンダントの観音様を身につけることも多いです。お願いすることは、まずは、やっぱり健康ですね。両親が元気で長生きできますように、とか。なにしろ、健康が一番。商売繁盛とかは健康あってのものですから。ハリウッドで仕事をしたときもブレイズムについて聞かれたこと

がありました。欧米の人たちは仏教が、神秘的で特別なパワーがあると感じているようです。私自身の守りご本尊は虚空蔵菩薩だと最近知って、目からウロコでした。右手に剣を持って救うべき者のために戦っているという印象がある仏様でしょうか。私って何かあると率先して前に出て行き、その場をまとめたりすることが多いので「やっぱり、そうだったか」と、納得。この菩薩が祀られている小玉堂が日光の輪王寺にあるというところを、最近知り、改めてじっくり日光を巡ってみたいと思っています。